

今、大人も子どもも「社会性」ではなくて、「社会力」が不足しているのではないかとされています。筑波大学の門脇先生は、社会に適応していく社会性も弱くなったが、それよりも人と人がつながって、お互いを理解しながら良い社会を作っていく社会力が足りない」と述べておられます。人権教育はすべての人が幸せになる社会をつくるための教育であると思いますが、社会力が不足しているということは、みんなが幸せになる社会を作っていく力が足りない状況だと認識しなければならぬのだと思います。

社会力の基礎になるのが、他人に対する関心・愛着・信頼感です。これらの基本は3歳くらいまでに形成されるといわれています。

子どもたちにこの基本になるものが形成されると、自分以外の人を心の中に生かすことができるようになるのです。例えば、自分の心の中に親が大きな存在として生きていれば、親の喜びは喜びとして笑顔が生まれ、辛さは自分の辛さと重なって涙を流すことができるのです。「こんなことをしたら悲しむだろうな」「こういうことをしたら喜んでくれるだろうな」と思うことができるのです。

そして、大きくなるにしたがって、親だけでなく、家族や親戚の人、友人などたくさんの人を自分の心の中にいきいきと生かすことができるようになるのだと思います。

自分の中に他者を取り込み、その人の苦しみを自分のことのように、その人の喜びを自分の喜びのように感じることで、はじめて一緒に行動することができるようになります。可愛がられた経験を持つと、子どもの心の中に「関心」「愛着」「信頼感」が定着するのです。

みんなが幸せになる社会は、子どもが「自分は大切にされている」と思うところから始まるのだと思います。



ありがとうございました

次の方々からご好意、ご寄付等をいただきました。厚くお礼申し上げます。

(順不同 敬称略)

■まごころ銀行へ

▽北村幸秋（三芳）、▽藤岡伸吾（北条）、▽長井貞秋（高田）、▽村上 徹（楠）、▽青野美智子（壬生川）、▽(株)ルネサステクノロジ西条事業所N自主研会、▽国興産業(株)、▽三芳地区民生児童委員協議会、▽中川さくら保育園保護者会、▽寺田・知里歌謡教室合同歌謡祭、▽大正琴 琴扇会、▽小松歌謡クラブ

■老人ホーム明水荘へ

▽生け花指導 稲住育子（下島山甲）、▽散髪 伊藤泰博（明神木）、▽新聞 芥川秀人（神拝甲）、▽押し花指導 佐藤ミヨ・秋月理作子（大町）、長瀬 皋（中野甲）、▽だんじり慰問・清酒 百軒巷自治会、▽だんじり慰問・清酒 松之巷自治会、▽だんじり慰問 八丁自治会、▽現金 滋巷自治会、▽慰問 ひまわり幼稚園

■老人ホーム石燧園へ

▽縫物奉仕 周桑天理教婦人部、▽作業奉仕 東予高等学校、▽物故者回向 丹原仏教会

■特別養護老人ホーム道前荘へ

▽車椅子清掃等 東予高等学校、▽喫茶・カレンダー作り コープえひめ福祉グループ、▽物故者回向 丹原仏教会、▽歌・踊り 西条市食生活改善推進協議会小松ブロック

人権問題に関する総合12時間電話相談

- ◆日 時 12月4日(火) 9時～21時
- ◆電話番号 0120-025-550 (携帯電話からの相談も可能)
- ◆相談内容 差別待遇、暴行・虐待、いじめ、プライバシーの侵害等、家庭や近隣関係などの人権問題全般。
※予約不要、無料、秘密厳守です。
- ◆相談員 人権擁護委員(弁護士資格を有する者含む)
法務局職員
- ◆主 催 松山地方法務局・愛媛県人権擁護委員連合会

街路灯が寄贈されました

四国電力(株)西条営業所から市へ街路灯44灯が寄贈されることになり、10月19日(金)に市長に目録が手渡されました。

この街路灯寄贈は「よんでんグループふれあい旬間」事業の一環として、明るいまちづくりに貢献するため、平成4年から毎年行われており、今年度で合計636灯寄贈されています。



木製玩具一式が寄贈されました

10月18日(木)に社団法人伊予西条法人会からひまわり幼稚園へ、子育て支援のテーマのもと木製玩具一式が寄贈されました。

この玩具は園児の情操教育に活用させていただきます。

